

第4回

国立大学等施設の設計に関する検討会報告書(概要)(案)  
— 教育研究の活性化をもたらす知的創造空間の創出 —

第1章  
国立大学等の施設整備の現状と課題

- 1. 現状  
→大学改革, 維持管理, 老朽施設, 狭隘
- 2. 課題  
→設計内容, 設計意図伝達, 設計のマネジメント

第2章  
施設整備の基本的考え方

- 1. 教育研究の活性化
- 2. 施設の質的向上
- 3. 施設整備を進めるためのプロセス

第3章  
教育研究の活性化をもたらすための留意事項

- 1. 交流促進への配慮
- 2. 快適性への配慮
- 3. フレキシビリティの確保

第4章  
施設の質的向上の留意事項

- 1. 安全な施設環境  
→防災, 防犯, 事故防止
- 2. 環境配慮型施設への転換  
→長寿命化の検討, 省エネルギー・省資源の推進, エコマテリアルの使用
- 3. コストの最適化  
→ライフサイクルコストの検討, コスト配分

第5章  
施設整備プロセスの留意事項

- 1. 事業の企画・立案  
→将来構想の把握, キャンパスマスタープランとの整合, 施設整備手法の設定
- 2. 基本計画  
→与条件の調査・整理, 計画方針の策定・規模(全体及び諸室)等の設定, 学内の合意形成
- 3. 基本設計  
→設計条件等の整理, 基本設計方針の策定, プランニング, 各種計画, 施設利用者等との合意
- 4. 実施設計  
→要求等の確認, 実施設計方針の策定, 詳細設計
- 5. 設計意図の伝達

第6章  
主な空間計画の留意事項

- 1. コミュニケーションスペース
- 2. 能動的学修スペース
- 3. 講義スペース
- 4. 実験・研究スペース
- 5. 教員スペース

第7章  
よりよい施設にするための推進方策

- 1. 国立大学等に求められる取組  
→組織づくり, 設計期間の確保・設計品質の向上, PDCAサイクルの確立, 人材育成
- 2. 国に求められる取組  
→普及・啓発活動の実施, 支援の充実, 技術的情報の提供

第5回

国立大学等施設の設計に関する検討会報告書(最終案)(概要)  
— 大学機能が活性化する教育研究空間づくり —

第1章  
国立大学等施設の現状と課題

- 1. 施設の現状と課題  
→老朽化, 施設マネジメント, 低炭素社会
- 2. 設計の現状と課題  
→設計内容, 設計意図伝達, 設計のマネジメント

第2章  
設計の基本的考え方

大学機能の活性化の推進

- 1. 教育研究空間の最適化
- 2. 施設水準の向上
- 3. 設計プロセスの改善

第3章  
教育研究空間の最適化

- 1. 交流促進への配慮
- 2. 快適性・利便性への配慮
- 3. 機動的変換性の確保

第4章  
施設水準の向上

- 1. 安全な施設環境  
→防災機能の強化, 防犯, 事故防止
- 2. 環境配慮型施設への転換  
→施設の長寿命化, 省エネルギー・省資源等の推進, エコマテリアルの使用, 景観への配慮

第5章  
設計プロセスと推進体制

- 1. 企画・立案  
→企画・立案の目的, 企画書の策定
- 2. 基本計画  
→基本計画の目的, 推進体制の構築, 基本計画書の策定, 学内合意と情報発信
- 3. 基本設計  
→基本設計の目的, 推進体制の強化, 基本設計書の策定, 基本設計の決定
- 4. 実施設計  
→実施設計の目的, 基本設計書の修正
- 5. 施工  
→設計意図の伝達, 施設性能の確認等
- 6. 運用  
→基本計画書等の保存・継承, 施設の評価とフィードバック

第6章  
教育研究空間

- 1. コミュニケーションスペース
- 2. 能動的学修支援スペース
- 3. 講義スペース
- 4. 実験・研究スペース
- 5. 教員スペース
- 6. 災害対応スペース

第7章  
大学機能が活性化する教育研究空間づくりの推進方策

- 1. 国立大学等に求められる取組  
→戦略的広報, PDCAサイクルの確立, 人材育成, 経営的視点に立ったコスト意識の醸成
- 2. 国に求められる取組  
→普及・啓発活動の実施, 支援の充実, 技術的情報の提供, フォローアップ